

○丸山 スニーラット先生、どうもありがとうございました。

それでは、先生にはそのままそちらにいていただいて、ジェン先生、こちらに来ていただきまして、時間も限られておりますが、少し全体、タイ、それからフィリピンの2カ国と一緒に、全体でお話ができる部分があるのではと思いますので、それについてお話を、少し時間をとりたいと思います。今回のこの企画の趣旨といたしましては、新しい留学生を受け入れるに当たり、本学がどういったところをクリアしていったらいいのか、そういったことを、方向性を少し見いだせるといいなと思っていました。ですので、少し課題を整理してくということと、それから、できること、どんなことがあるかなということを考えていくことになるかなと思います。

今日、ジェン先生とスニーラット先生からお話をいただいたことの1つは、経済的な問題を、課題をクリアするということが1つあったかなというふうに思いますし、それからもう一つは、その情報ですね。本学に、いかにその情報をアクセスしていくかという、そういったこともあったかなと思います。先生方、今日のお話をお聞きになって、ほかにこういった課題について少し先生方に、ぜひ聞いてみたいというようなことがおありでしょうか。先生たちからぜひという。

○スニーラット 先ほど池田先生がおっしゃった、1年生を送って、向こうの高校生との交流は、私はすごいいいことだと思います。もし高校生が難しい場合は、1年生を送って、自分が今勉強していることはどんなことなのか、あと自分の高校生の経験を向こうの高校生に語ってあげれば、すごく勉強になるんじゃないかと思います。結構、こういうプロジェクトがあったら、高校が受けやすいと思います。

○池田 もしそういうことをやりたいと思ったときに、もし日本の中の高校と、そういうことをやろうと思うと、大学がその高校に直接連絡をして、こういうことをやりたいんですけど、いかがですかというふうに聞いて始まるんですけど、タイの高校にいきなりそういうことをして大丈夫なんでしょうか。

○スニーラット まず、教師会に入っている運営委員の先生方に私が言います。

○池田 ああ、ありがとうございます。じゃあ、ぜひ企画を送らせていただきたいと思います。フィリピンの高校はいかがですか。同じような。

○**ヒエイダ** I think that is also possible in the Philippines but the government policy is different for high school and the university level, so I think we have to confirm about the rules about that. But for the university level I think it's a good opportunity because since we changed to the K-to-12 curriculum, university level also changed, so for example in my university, there is one semester where the students should go out of the country, for an immersion course. Yesterday Maruyama Sensei presented briefly about the short term program in Rikkyo University, which I think is a good chance also for our university, as one option but we need to set up the memorandum agreement. Yes, because that's the requirement of the university level, but for high school, it's complicated because the office is different, Sorry I am promoting more the university than high school, but I think it's easier for university level.

○**池田** じゃあ、もしフィリピン的高校にアクセスしたい、コンタクトを取りたいと思ったら、どうすればいいんでしょうか。

○**ヒエイダ** Hai, we have to go through the Government, not to the school directly. By the Government first. So, it's the Ministry of education. So maybe we can start with Japan foundation and then they will be the one to bridge or introduce to the ministry of education. Not like in the university level where between universities, they can already make communication, and set the MOU or MOA according to the standards and requirements of the university.

○**池田** ありがとうございます。

○**丸山** ありがとうございます。そろそろ時間となってまいりましたので、特に皆様から、この機会にぜひ一言というのがありましたらお願いします。

○**藤田** 先生方、ありがとうございます。藤田です。日本の大学に限らずですけども、どんなことが、フィリピンの高校生とタイの高校生に大学に行きたいと思わせることにつながるんでしょうか。別にタイの中で、フィリピンの中でもいいんですけど、何か。

○**スニーラット** 最近はやはり韓国。K-POP。韓流の影響でみんな韓国に行き

たがっています。ただの遊びです。

○ヒエイダ 同じだと思います。

○丸山 ありがとうございます。

